

児童虐待対応の 実践を学ぶ 第4弾

子どもの安全・安心を守るために

日時

2023年3月4日（土）

受付開始：13時半～

時間：14時～17時（予定）

WEB 開催 プログラム

14時：教育講演

子どもの育ちと里親制度（仮）

岡山市発達障害者支援センター

こども総合相談所 医療専門監

壺内昌子先生

15時10分：特別講演

医学的に虐待を診る（仮）

京都第一赤十字病院

救命救急センター 副センター長

救急科 救急 ER 部長

安 炳文先生

医療・福祉
教育関係者

参加費

無料

申し込み方法

FAX またはメール
（別紙参照）

問い合わせ

岡山県児童虐待対策協議
会事務局
国立病院機構
岡山医療センター小児科
（担当：樋口洋介）

TEL:086-294-9911

Email :
p0b980ia@okayama-u.ac.jp

共催

・岡山県医師会
・岡山大学病院虐待
連絡委員会

児童虐待対応の実践を学ぶ WEB 講習会

教育講演 「子どもの育ちと里親制度（仮）」

岡山市発達障害者支援センター、こども総合相談所・医療専門監

壺内昌子先生

特別講演 「医学的に虐待を診る（仮）」

京都第一赤十字病院 救命救急センター・副センター長、救急科・救急 ER 部長

安 炳文先生

【ご案内】

コロナ禍の影響で子ども虐待の方向は増加傾向です。保護者の困窮は子どもの危機につながっており、対応に苦慮することがさらに増加しています。岡山県児童虐待対策協議会では、今年度も関係者が共に学ぶ機会をつくるため、以下の内容でWEB講習会を開催させていただきます。

教育講演：2017年の児童福祉法改正に伴い「新しい社会的養育ビジョン」が発表されました。「虐待を受けた未就学児を児童相談所が里親に委託する割合を75%以上にする」という目標と共に、里親への包括的支援体制（フォスターリング機関）の抜本的強化と里親制度改革、永続的解決（パーマネンシー保障）としての特別養子縁組の推進などが掲げられました。乳幼児の家庭養育原則の徹底のため特別養子縁組を前提とした里親制度も運用されていますが、地域によって取り組みに差があります。岡山県の現状と今後の課題について、こども総合相談所や女性相談所など第一線の場で対応されている壺内昌子先生にお話しいただき、お子さんたちがどのような育ちを保障されるのかを学びます。

特別講演：小児の診療特に救急の現場では、虐待は重要な「鑑別診断」の一つとなっています。家族の説明と子どもの重症度に乖離がある、経過の説明と病状が合致しない、などの場合は子ども虐待を念頭に対応する必要がありますが、第三者の目撃のない家庭内で発生するため医学的な評価は常に困難な作業となります。意識障害や痙攣などを呈するAHT(虐待による乳幼児頭部外傷:Abusive Head Trauma in Infants and Children)は、こども虐待の中でも特に死亡や重い後遺障害に繋がる重篤な病態であり、対応と理解が必要です。医療者としてどのような時に虐待を疑うのか、さらにどのように対応すればよいのか、また、行政や福祉の関係者としてこの状況をどのように理解すればよいのか、臨床経験豊富で本領域の第一人者である安炳文先生にお話しいただきます。

申し込みは別紙にて、FAX またはメールでお願いいたします。

締め切り：2023年2月18日（土）必着

定員：80名（先着順）

医療、福祉、教育関係の多数の方のご参加をお待ちしています。本領域に興味のある学生の方も参加可能です。

【開催概要】

日時：2023年3月4日（土） 14時～17時 13時半より接続可能とします。

URL 送付：2023年2月27日（月）事務局よりURL他を登録のメールアドレスに送付します。

FAX返信票

国立病院機構岡山医療センター内

岡山県児童虐待対策協議会事務局(小児科)樋口宛て

FAX:086-294-9255

1. 児童虐待対応の実践を学ぶ 第4弾
「子どもの安全・安心を守るために」

参加を希望します

2. 講演内容と提示症例に関する守秘に留意し、講演内容の記録や他者への伝達をしないことを

誓約します

3. 受講の可否、URL送付のご連絡のため、下記にご記入ください。

御名前: _____

御所属先: _____

御連絡先: 電話/FAX _____

メールアドレス _____ @ _____

*** URL の確実な送付のために、パソコン用アドレスをご記載下さい**

FAXでは文字が見えづらいことがあるため「1(イチ)」「I(エル)」など書いて頂けると文字判別に助かります。

*** ご返信は2023年2月18日(土)までをお願いいたします。**